

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット1)

|         |                    |            |            |
|---------|--------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 0170502348         |            |            |
| 法人名     | 有限会社レイロ            |            |            |
| 事業所名    | グループホーム涼風          |            |            |
| 所在地     | 札幌市豊平区中の島2条7丁目4番5号 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成30年7月7日          | 評価結果市町村受理日 | 平成30年11月8日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

|             |  |
|-------------|--|
| 基本情報リンク先URL |  |
|-------------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 評価機関名 | 企業組合グループ・ダイナミクス総合研究所 介保調査部  |
| 所在地   | 札幌市手稲区手稲本町二条三丁目4番7号ハタナカビル1階 |
| 訪問調査日 | 平成30年7月19日                  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

涼風は、閑静な住宅街の中にあり、近くには自然豊かな公園と精進川があります。夏に散歩した際には、精進川公園の池で、鴨の親子が仲良く泳いでいる姿を見ることができる等、自然から四季を感じることができます。

涼風の理念は「ゆったりと穏やかな雰囲気の中で安心し、又安全に生活を送ることが出来るように支援する」であり、理念の中にあるように、ゆったりと穏やかな雰囲気の中で生活を送るには、周辺環境に恵まれていると思います。

現在、涼風では90歳を超える利用者様も多くなってきています。食事形態等の工夫や医療関係との連携を行い、体調管理にも力を入れ、日々安心し、安全な生活を送って頂けるよう努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、豊平区中の島の閑静な住宅地にあり、地下鉄南北線南平岸駅から徒歩圏内に位置した2階建てで1階1ユニットのグループホームである。2階には、今年の3月に豊平から移設した児童デイサービスを運営している。事業所の近隣には、精進川の河畔公園や豊平川があり、散歩などが楽しめる自然環境である。法人は、医療法人に勤務していた代表者が平成15年に独立して当事業所を開設したもので、今年の2月までは2ユニットのグループホームであったが、2階部分を児童デイサービスに変更した。それにより、相乗効果として、児童デイサービスに通う子供達とホームの利用者の日々の交流により、利用者の笑顔が増えた。また、7月より犬が一匹加わり、尚更楽しい毎日である。ホーム内は、蓄電池を活用した暖房で、冬は暖かく、温度や湿度にも配慮しており、居室は、壁や窓が障子など和の仕様で落ち着いた感じである。事業所の理念である「ゆったりと穏やかに・・・生活を送れるよう支援する」を実践している事業所で、これからも地域密着型サービスの事業所として期待したい。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

| 項目 |   | 取組の成果<br>↓該当するものに○印 |  | 項目 |   | 取組の成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|---|---------------------|--|----|---|---------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる<br>(参考項目:23、24、25)       | ○                   | 1 ほぼ全ての利用者の<br>2 利用者の2/3くらい<br>3 利用者の1/3くらい<br>4 ほとんどつかんでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9、10、19)   | ○                   | 1 ほぼ全ての家族と<br>2 家族の2/3くらいと<br>3 家族の1/3くらいと<br>4 ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18、38)              | ○                   | 1 毎日ある<br>2 数日に1回程度ある<br>3 たまにある<br>4 ほとんどない                 | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2、20)                     | ○                   | 1 ほぼ毎日のように<br>2 数日に1回程度<br>3 たまに<br>4 ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                    | ○                   | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない   | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                   | 1 大いに増えている<br>2 少しずつ増えている<br>3 あまり増えていない<br>4 全くない            |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36、37)      | ○                   | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない   | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11、12)                                      | ○                   | 1 ほぼ全ての職員が<br>2 職員の2/3くらいが<br>3 職員の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                   | ○                   | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない   | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                   | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30、31)          | ○                   | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない   | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                   | 1 ほぼ全ての家族等が<br>2 家族等の2/3くらいが<br>3 家族等の1/3くらいが<br>4 ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている<br>(参考項目:28) | ○                   | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない   |    |   |                     |   |

## 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価              | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |   |
|-------------------|------|---|---|---|---|
|                   |      |   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |      |   |   |   |   |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | 涼風の理念とフロアの理念をリビングに貼り、毎日確認、理解し、実践できるよう支援している。                                  | 理念は、事業所内に掲示して、事業案内にも掲載し、職員や利用者・家族にも周知するよう努めている。職員間では、理念をケアの基本としており、日常的に確認し共有して、実践につなげている。                       |   |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 町内会には入会しているも、行事等に参加する機会がなく、交流は少ない。  | 町内の行事には参加する機会が少ないが、運営推進会議に町内会役員や民生委員などが参加し、情報交換や意見交換をしており、町内近隣とも日常的に交流している。                                     |   |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 運営推進会議を通じて、地域住民の方に認知症の方の心理や行動を伝えたり、涼風が力を入れている支援方法等を発信できるように努めている。             |   |   |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取組<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている  | 御家族様や町内会長、民生委員、地域包括支援センターの方に参加して頂き、利用者様の状況や今後の活動についての報告や意見交換を行い、サービス向上に努めている。 | 昨年度は事業内容の変更などにより、定期的な開催は困難であったが、今年度は、地域包括支援センター担当者や町内会役員、民生委員、家族が参加して、運営状況の報告や情報交換、意見交換を行い定期的に開催し、サービス向上に努めている。 | 昨年度は、事業内容の変更などにより開催が不定期となり、十分な取り組みが出来ていなかったが、今年度からは、新体制にて定期的な開催をして、意見を聞きサービス向上に活かすことを期待したい。 |
| 5                 | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 涼風の運営に関わることや不明な点がある場合は、都度確認したり、相談をさせて頂いている。                                   | 地域包括支援センター担当者や市担当者とは定期的な報告や連絡などを行いながら、情報交換や相談をしており、協力関係を築くよう取り組んでいる。  |   |
| 6                 | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束マニュアルを作成し、職員間で話し合ったり、意見交換をする等して、日々取り組んでいる。                                | 法人内に虐待防止委員会があり、委員会が中心となり、虐待防止や身体拘束廃止の研修会や勉強会を開催して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。  | 今年度の研修会予定一覧には、高齢者虐待防止についての研修会は予定しているが、身体拘束をしないことの研修会も年2回以上併せて開催して取り組むよう期待したい。               |
| 7                 |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                      | 虐待防止の為、虐待について職員間で勉強会を行い、情報交換や話し合いをして、虐待防止に努めている。                              |   |   |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|-----------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                             |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8                           |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している  | 権利擁護に関する制度については、勉強会を行い、理解を深めたり、利用様に必要なものではないか等を検討したり、活用できるよう努めている。             |   |                   |
| 9                           |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                       | 御家族様に文章等にて説明し、十分に理解や納得をされた上で、ご家族様の同意の元、契約を行っている。                               |   |                   |
| 10                          | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                    | 来訪時に直接、意見や要望等を伺い、運営に反映させている。   | 利用者の生活状況は、担当者が毎月手紙にて家族へ報告している。また、家族が来所時にアンケート用紙にて意見を聞くことを行っており、記入された家族からの意見や要望は運営に反映している。 |                   |
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                    | カンファレンスや勉強会を通して、職員の意見や要望を聞き、職員の意見や要望を元に業務改善等を行っている。                            | 全体会議は月1回開催しており、個人面談は必要な都度管理者が行っている。日常的にコミュニケーションを大切にしており、理念を基に意見や要望を聞き検討して、運営に反映している。     |                   |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている    | 職員の経験等を考慮し、人員配置を行っている。又、女性でも働きやすい様に育児休暇等を取りやすい環境作りを務めている。                      |   |                   |
| 13                          |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている       | 定期的に勉強会を実施する等、サービスの向上に努めている。   |   |                   |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている | 今後、同業者との交流の機会を作り、実施できるように努めていきたい。  |   |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |  |   |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている      | 入居前に御本人様や御家族様と面談等を行い、生活状況やヒストリーを伺い、安心して生活して頂くには、どのような対応が可能等を説明させていただけるよう努めている。 |   |                   |

| 自己評価                              | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|-----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                   |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16                                |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている       | 御家族様が困っている事や不安に思っている事、要望等を聞き、ご家族様の納得をしたサービスを提供できるように努めている。                                |   |                   |
| 17                                |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている   | 御本人様や御家族様の不安に思う事や要望を聞き取り、必要な支援を行えるように努めている。   |   |                   |
| 18                                |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                      | 利用者様が出来る範囲内でお手伝いをお願いし、支え合う関係を築けるように努めている。   |   |                   |
| 19                                |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている       | 御家族様が面会に来られた際は、近状報告をさせて頂き、ご家族様とはリビングや居室等、様々な場所で過ごして頂いている。又、毎月手紙にて利用者様の様子等を御家族様に郵送し、伝えている。 |   |                   |
| 20                                | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                   | 遠方の御家族様や利用者様の御友人からお電話を頂いた際は、利用者様の状況を確認しながら、電話の取次ぎ等を出来るように努めている。                           | 利用者の友人や知人の来訪があり、家族も孫などの親族が利用者の好きなおみやげを持参したり、一緒に外出や外食するなど関係継続の支援をしている。 |                   |
| 21                                |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている               | リビングを利用し、利用者様同士が自由に関わり、レクリエーションや誕生日会等を通して交流できるように努めている。                                   |   |                   |
| 22                                |      | ○関係を断ち切らない取組<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 長期入院となった利用者様の面会に行ったり、御家族様とのコミュニケーションを大切にしている。   |   |                   |
| <b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |   |                   |
| 23                                | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                       | 日々の関わりを通じて、その方の想いを把握するように努め、意思疎通が難しい方には、その方に合ったコミュニケーション方法を実施できるように努めている。                 | 思いや意向の把握方法として、利用者の性格重視及び生活歴の重視を念頭に、ひとり一人その人らしく生きる支援方法を考えて把握に努めている。    |                   |



| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|--|--|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24   |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 御家族様や医療機関等から情報収集したり、御本人様との日常会話や行動、仕草などから把握できるよう努めている。                              |  |                   |
| 25   |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日々の関わりや記録等にて現状を把握し、職員間で情報共有を行い、対応できるよう努めている。                                       |  |                   |
| 26   | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 情報収集し、モニタリングを行い、御本人様や御家族様の意見を把握した上で、介護計画を作成している。                                   | 利用者毎の担当者制を敷いており、本人や家族の意見や要望等を含め情報収集をして、モニタリングを行い、カンファレンスで検討し、現状に即した介護改革を作成している。      |                   |
| 27   |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の利用者様の様子等を個人記録に記録し、職員間で情報共有を行ったり、介護計画の見直しの際に利用している。                              |  |                   |
| 28   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる              | 利用者様の状態の変化や御家族様のニーズに合わせて、柔軟な支援を行っている。又、かかりつけ医と歯科は往診にて対応して頂いている。                    |  |                   |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 必要に応じて、消防、警察機関と協力を取りながら、支援を行っている。又、利用者様が心身の力を発揮し、安全で豊かな暮らしを楽しめるように、必要な資源の把握に努めている。 |  |                   |
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                    | 常にかかりつけ医とは連携を取り、適切な医療が受けられる体制をと打っている。又、必要に応じて、受信も行っている。                            | 協力医療機関は月1回の往診があり、その他に個別に月1回の往診がある。また、看護師もいつでも相談できる体制となっており、24時間の適切な医療を受けられるよう支援している。 |                   |
| 31   |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している          | 協力病院の看護職員にいつでも相談することができ、助言等を常に受けられる体制が整っている。                                       |  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |  |
|------|------|---|--|--|--|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                                      |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。  | 長期入院の際は、御家族様の意向を確認し、早期退院できるように、医療機関と連携を取っている。又、入院中は必要に応じて、医療機関と情報共有を行っている。 |  |  |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる | 医療機関や御家族様等と話し合いを行い、検討等をしている。   | 重度化や終末期の対応は、重度化した時に、本人及び家族と主治医、事業所にて打ち合わせし、4者で看取りの合意をした時のみ、主治医・看護師と事業所が連携して看取りの支援を行っている。 |  |
| 34   |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時マニュアルを作成し、迅速な行動を取れるように日々取り組み、速やかに管理者や医師と連携が取れる体制を整えている。                 |  |  |
| 35   | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 災害マニュアルを作成し、職員が必要に応じて対応できるように努めている。又、避難訓練等も実施している。                         | 災害対策は、火災のマニュアルや備蓄、バッテリー等の備品を整備して、年2回火災の避難訓練を定期的に行っている。                                   | 火災の避難訓練は実施しているが、水害等の自然災害のマニュアルの整備と避難訓練の検討及び計画実施を期待したい。 |

#### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

|    |    |  |  |  |  |
|----|----|--|--|--|--|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                | 利用者様の意見を尊重し、言葉使い等を常に意識し、日々対応している。又、個人記録等は、プライバシーが守られる場所に保管する等、適切な配慮を行っている。 | 人格の尊重とプライバシーの確保については、年1回マナー研修を実施しており、人格を尊重した言葉かけや個人の記録簿は事務室に管理するなどプライバシーの保護に努めている。 |  |
| 37 |    | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 利用者様の想いや要望を傾聴し、状況に応じて職員が対応している。  |  |  |
| 38 |    | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している | 1人1人の生活リズムを把握し、職員間で情報共有を行い、利用者様のペースに合わせて支援できるように心がけている。                    |  |  |
| 39 |    | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 3か月に1度のペースで訪問美容を利用して頂いたり、季節ごとに利用者様と一緒に衣替えをしたり、その人らしい身だしなみができるよう支援している。     |  |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|---|--|---|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 毎日献立を説明したり、食後は利用者様に下膳をして頂いたり、職員と一緒に食器拭きのお手伝いをして頂いている   | 食事は、業者委託とし、温めや盛り付けなどの簡易な作業となった。利用者は、下膳や食器ふきなど職員と一緒に手伝っている。行事食は、特別メニューで、流しソーメンやチョコバナナなど楽しみな食事の支援をしている。 |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | 栄養士により計算された献立を提供し、毎食食事量と水分量を確認し、利用者様の状況に応じて、栄養補助食を提供する等対応している。又、利用者様が食べやすい形態を把握し、利用者様に合った食事形態にて提供している。 |   |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 毎食後口腔ケアを実施し、介助が必要な場合は、介助にて対応している。又、就寝時は利用者様の義歯をお預かりし、消毒を行っている。   |   |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている  | 利用者様の生活パターンや排泄パターンを把握し、職員の声掛けにより、トイレ誘導を行っている。  | フロアシートで、利用者毎の排泄パターンを把握し、職員間で共有して、利用者ひとり一人に声掛け誘導し、トイレでの排泄の自立に向けた支援をしている。                               |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 乳製品の提供やストレッチ体操を実施している。又、必要に応じて、医療機関に相談する等の連携も行っている。  |   |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている | 利用者様の要望にできるだけ合わせて入浴を実施している。入浴前は、バイタル測定を行う等体調確認も実施している。   | 入浴は週2回～3回行っており、利用者の希望を尊重して、ひとり一人の状況に合った入浴の支援をしている。  |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | 1人1人の生活リズムを把握し、日中はリビングで過ごして頂く等の、昼夜逆転の予防に努めている。   |   |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | 処方された薬は必ず服薬表に目を通し、用途や副作用を理解するように職員全体で実施している。又、服薬後の利用者様の様子観察も行っている。                                     |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|--|--|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている  | 利用者様の趣味や生活歴を把握し、楽しい生活を送れるように気分転換を促す等、日々努めている。  |  |                   |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | 夏季、秋季は散歩等の外出支援を実施している。又、利用者様によっては、御家族様と外食等をされる方もいる。  | 日常的に近隣の散歩などの外出支援をしている。家族の来訪時に一緒に外出や和食レストランなどへの外食も支援している。また、利用者毎の買物支援を検討し、計画を立てて支援する予定である。  |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 基本的には、涼風にて管理しているが、利用者様によっては、お金を持つことで安心される方もいるので、自身で小銭程度を管理されている方もいる。                                 |  |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 希望があれば、涼風の電話を利用できるように対応している。又、遠方の御家族様や利用者様の御友人からお電話を頂いた際は、利用者様の状況を確認しながら、電話の取次ぎ等を出来るように対応している。       |  |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 毎日涼風内の掃除やトイレ等の共有スペースの消毒を1日数回実施したり、湿度や温度の管理を行い、快適に過ごして頂けるように心がけている。又、季節に合った装飾を飾り、四季を感じる事ができるように努めている。 | 共用空間は、採光や風通しもよく、温度や湿度の管理も行っており、居間や食堂の飾り物も季節を感じるものである。廊下の突き当りに非常口があり、緊急時に配慮している。また、居間には、大きな金魚と犬がおり、ドックセラピーとなり、利用者が笑顔で居心地よく過ごしている。 |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 気の合う利用者様同士でコミュニケーションを取れるように座席等を考慮している。   |  |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 使い慣れた家具や小物等を持参して頂いて、利用者様の希望を活かし、工夫している。  | 居室には、収納用の棚があり、壁は和風の趣である。利用者は、使い慣れた家具や馴染みの物を持参して、居心地よく過ごせるよう工夫している。   |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 廊下やトイレ、浴室に手すりを設置したり、場所の表記を行う等の工夫をしている。又、リビングに日めくりカレンダーを設置する等の工夫もしている。                                |  |                   |